

和の光

宝塚市立西谷中学校



地域の皆さんに支えられて成長する西谷中生

校長 筒井 啓介

現代の社会は物と情報に恵まれ、お金さえ出せば何でも簡単に手に入る時代となりました。しかし、地球規模の環境問題や少子高齢化に伴う様々な社会問題が生じています。また、学校教育においても、少子化に伴う学校の統廃合、いじめや不登校の増加など……。私たち大人が学生だった頃とは様子が大きく変わってきました。ここ西谷中学校においても、生徒数の減少など課題はたくさんありますが、私は小規模の学校だからこそその良さもたくさんあると実感しています。西谷中の良さや課題について感じていることを下記に示してみます。

【良さについて】

- ・認定こども園、小学校、中学校が連携しながら教育を行うことで**長期的な計画に基づいた教育実践や縦の繋がりを大切にしながら思いやりの心を育むことができること。**
- ・卒業生や保護者、地域の方が学校教育を支えてくれることで、**子どもたちの愛校心やふる里西谷を愛する心が育まれること。**
- ・地域行事で子どもたちの活躍の場を与えていただくことで、**自尊感情や自己有用感が育まれること。**
- ・豊かな自然や多様な地域人材を活かしながら、**体験を重視した教科横断的な学びが推進できること。**
- ・**一人一人の子どもに活躍の場が与えられること。**

【課題となること】

- ・義務教育終了後の進学先で**大規模な集団に入った際に、適応することができるコミュニケーション能力を育むこと。**
- ・義務教育終了後の進学先や就職先において必要となる**基礎学力を確実に育むこと。**
- ・幼い頃から育ってきた地域から**外の世界を知り、物事の善悪をしっかりと判断して責任のある行動がとれる力を育むこと。**

ふるさと祭り、ケトロン祭り、収穫祭、ちまきづくり、稲作体験、さつま芋栽培、Instagramによる情報発信、みんなの学習室、トライ・やるの受け入れ、里山整備体験、地域行事での吹奏楽部演奏、児童館の催しへの参加、書道パフォーマンスの指導、アサギマダラプロジェクト、あいさつ運動、グラウンドの草刈り……など、ここには書ききれないほどたくさんの支援を受けています。こんなにたくさんの支援を受けられることは当たり前ではなく、西谷地域の皆さんが西谷中生を我が子のように大切に思う心があるからこそ、感謝の気持ちで一杯です。

そのような西谷地域の皆さんの思いと西谷中の良さを大切にしながら課題を克服し、社会の中で逞しく生き抜ける力を身に付けた子どもたちを育てていきたいと思ひます。

■稲作にチャレンジします その5（1年生）

酷暑が連日のように続いた今年の夏、その暑さにも負けず黄金に輝く立派な稲に成長しました。今回は指導員さんの説明を聞いた後、全員が鎌を使って稲刈りを行いました。生徒の中には稲刈りの経験者もいて、見事な手さばきに関心させられました。兵庫県教育委員会阪神教育事務所と宝塚市教育委員会から視察に来られ、豊かな自然の中でいききと活動する生徒の姿に関心しておられました。（9月19日）



見事に成長した稲の様子



心を込めて刈り取ります



成長した稲と記念撮影



稲を束ねて天日干しします



全員が稲刈りを体験しました



手際よく束ねて、天日干しします



全員が稲刈りを体験しました



全員が揃って記念撮影 最高の笑顔です！！